

令和5年度 学校教育自己診断まとめ

【回答数（回収率）】

	在籍数 (12月1日現在)	生徒回答数	保護者回答数	教員回答数
1年生	204	162(79.4%) (昨年度 84.8%)	74(36.3%) (昨年度 37.1%)	63(100%) (昨年度 100%)
2年生	174	135(77.6%) (昨年度 87.4%)	49(28.2%) (昨年度 33.9%)	
3年生	164	115(70.1%) (昨年度 71.7%)	62(37.8%) (昨年度 28.3%)	
合計	542 (昨年度 552)	412(76.0%) (昨年度 81.9%)	185(34.1%) (昨年度 33.5%)	

【はじめに】

コロナが5月に5類感染症となり、体育祭や文化祭などの学校行事をコロナ前の形に近いもので実施することができた。また、一人一台端末（Chromebook）を活用した学力保障や授業など、まだまだ課題等もあるが、うまく活用できている。生徒もうまく対応しているように感じている。

学校教育自己診断の回収率において、生徒の回収率が減少している。LHRでの実施を行ったが、当日欠席した生徒など、後日に回答してもらうなどの取り組みが必要である。また、保護者の回収率も低い。今年度も紙での配布（QRコード）に加え、LINEやライデンスクールなどでも回答を呼びかけたが、回収率を上げていく取り組みが今後の課題である。

【アンケートの変更点】

今年度は生徒・保護者・教職員のアンケートの変更点はありません。

【学校経営計画の評価指標に挙げた項目について】

資料 3 - 1

<生徒対象>

- ③「授業はわかりやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて令和5年度以降も80%を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
89.5%(85.9)	85.2%(85.6)	92.2%(81.6)	88.8%(84.7)

- ⑥「私は長吉高校に入学して自分の考えや意見を伝える力が付いたと思う。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて70%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
79.0%(69.1)	77.0%(77.6)	80.9%(70.1)	78.9%(72.4)

- ⑬「先生は悩みや相談にいていねいに応じてくれる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上をめざす。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
76.5%(78.6)	79.3%(81.9)	88.7%(75.5)	80.8%(79.0)

- ⑱「制限された中ではあるが、学校行事に満足している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
92.6%(80.3)	82.2%(85.1)	93.9%(83.3)	89.6%(82.7)

- ⑲「自分からあいさつやお礼を言うことができる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて85%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
88.9%(89.3)	89.6%(83.8)	87.8%(86.0)	88.8%(86.5)

- ⑳「長吉高校では外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて令和5年度以降も80%を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
87.0%(89.3)	85.9%(83.8)	93.9%(86.5)	88.6%(86.5)

- ㉔「エンパワメントスクールに来て良かった。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
92.6%(90.5)	88.9%(83.8)	92.2%(63.1)	91.3%(81.2)

<保護者対象>

- ⑰「担任やその他の先生に相談しやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて70%以上の維持。



1年生	2年生	3年生	合計
62.2%(62.8)	67.3%(75.8)	79.0%(80.0)	69.2%(71.3)



※「わからない」4.3%、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」26.5%

- ⑱「エンパワメントスクールに入学させて満足している。」に対して、「よくあてはまる」「ややあてはまる」は



1年生	2年生	3年生	合計
87.8%(83.3)	85.7%(83.3)	90.3%(82.2)	88.1%(83.3)



※「わからない」1.6%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」10.3%

<教員対象>

- ③「今年度、電子黒板等ICT機器を活用し、授業を行った。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は



よくあてはまる	ややあてはまる	合計
63.5%(73.0)	27.0%(17.5)	90.5%(90.5)



【教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について】

◆いじめについて

<生徒対象>

- ⑭「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は



1年生	2年生	3年生	合計
84.0%(80.9)	83.0%(78.2)	87.8%(77.2)	84.7%(78.9)



<保護者対象>

- ⑫「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
70.3%(70.5)	67.3%(74.2)	66.1%(71.1)	68.1%(71.9)



※「わからない」7%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」24.9%

＜教員対象＞

- ⑬「生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

よくあてはまる	ややあてはまる	合計
60.3%(63.5)	38.1%(34.9)	98.4%(98.4)



◆校則・指導について

＜生徒対象＞

- ⑯「校則や指導について、納得できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
62.3%(51.7)	46.7%(55.7)	58.3%(52.6)	56.1%(53.3)



＜保護者対象＞

- ⑭「学校の校則や指導方針に共感できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
66.2%(69.3)	67.3%(72.6)	74.2%(75.6)	69.2%(71.9)



※「わからない」 3.2%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」 27.6%

◆ 学校へ行く楽しみについて

＜生徒対象＞

- ⑳「学校に行くのは楽しい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
77.8%(69.1)	68.9%(65.0)	70.2%(70.2)	69.6%(67.2)



＜保護者対象＞

- ④「子どもは学校に行くのを楽しみにしている。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は、

1年生	2年生	3年生	合計
74.3%(74.4)	71.4%(74.2)	79.0%(71.1)	75.1%(73.6)



【結果と分析】

＜生徒向け＞回答数 412（昨年度 452）

- 「③長吉高校の授業は、わかりやすい。」については、
全体として 88.8%で、目標の 80%を維持し、数値的にも大きく上回った。各学年で 85%を上回っており、特に 3 年生においては 90%以上と高い数値となった。教職員の授業改善や工夫が生徒に効果的に作用されていることがわかる。また、Chromebook や ICT 機器を活用している（教員、生徒ともに 90%以上）ことも、この結果に表れている。

- 「⑥長吉高校に入学して、自分の考えや意見を伝える力がついたと思う。」については、
全体として 78.9%で、昨年度より 5%以上増加した。「正解が一つでない問題に取り組む」授業のエンパワメントタイムがうまく作用されている。特に 1 年では「産業社会と人間」、3 年生では「ソーシャルスキルトレーニング」など特化している科目があることが、数値につながっている。

- 「⑬悩みや相談に、ていねいに応じてくれる先生がいる。」については、
全体として 80.8%で、目標の 80%を維持することができた。学年で見た時も、昨年度より数値が増加しており、（7 期生：81.9%→88.7%、8 期生 78.6%→79.3%）生徒の悩み対してきめ細かい対応を、教員全体として行っている成果だと思われる。

- 「⑱制限された中ではなるが、学校行事や HR は楽しい。」については、
全体として 89.6%で、目標の 85%以上を維持することができた。特に 3 年生の数値が高く（93.9%）、文化祭で模擬店の緩和や学校行事への新しい取り組みなどが影響している。また、各学年が思考を凝らしたスポーツレクレーション大会が生徒の数値の上昇につながったと考えられる。

- 「⑲自分からあいさつやお礼を言うことができる。」については、
全体として 88.8%で、目標の 85%以上を維持することができた。毎朝の校長、教職員による正門での声掛け等、学校全体での取り組みによる成果だと思われる。

- 「㉒外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」については、
全体として 88.6%で、目標の 80%を維持することができた。多文化共生を大きく推進するような特別な活動が、元の形に戻ってきていることが影響していると考えられる。

＜保護者向け＞回答数 185（昨年度 185）

- 「①学校はエンパワの教育方針を伝え、情報提供の努力をしている。」については、
H29 年度から 63%→68%→74%→72%→76%→85.4%で、今年度は 82.7%と概ね高い数字を維持できている。学校からの連絡方法に、HP やライデンスクール、LINE に加え、校長ブログの更新を頻繁に行っており、そのようなツールをうまく活用していることが、一定評価されたと思われる。
- 「⑩学校はていねいな進路や職業などについて丁寧な指導を行っている。」については、
H29 年度から 56%→64%→58%→64%→61→74.5%で、今年度は 75.1%であった。
学年別ではやはり 3 年生が一番高く、（3 年保護者：85.5%）出口保障として学校での取り組みが一定評価されたと思われる。今後は 2 年生での数値（2 年保護者：71.4%）を上げていく取り組みが必要である。
- 「⑪担任やその他の先生に相談しやすい。」については、
H29 年度から 60%→59%→62%→66%→68%→71.3%で、今年度は 69.2%と横這いである。
1 年 62.2%、2 年 67.3%、3 年 79.0%で、学年を重ねるに従い保護者の信頼が増していることがわかる。だが「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的な回答は全体で 26.1%（昨年度：5.4%）と 4 人に 1 人という値となっており、早急に対策が必要である。学年別では 1 年：35.1%、2 年：28.6%、3 年 14.5%である。

＜教職員向け＞ 回答数 63（100%）

- 「①生徒は授業にまじめに取り組んでいる。」については、
H29 年度から 42%→44%→41%→53%→58%→65.0%で、今年度は 63.5%と横這いである。
生徒への質問「①私は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 76%→79%→78%→86%→86%→88.9%で、今年度は 90.8%、「②長吉の生徒は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 44%→52%→60%→63%→54%→56.7%で、今年度は 67.0%であった。
- 「⑥カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」については、
H29 年度から 78%→87%→72%→77%→71%→84.1%で、今年度は 87.3%と横這いではあるが、高い数値となった。
- 「⑩生徒や保護者の意見を聞く姿勢がある。」については
H29 年度から 87%→84%→90%→90%→92%→95.2%で、今年度は 90.5%と減少しているが、高い数値を維持している。生徒、保護者への質問「担任等と相談しやすい」は生徒が 80.8%（昨年度 79.0%）、保護者が 69.2%（昨年度 71.3%）で教員の思いと生徒、保護者の受け取り方には差がある。
- 「⑪わかる喜びや学ぶ意欲を呼び起こし生徒の力を引き出す学校である。」については、
H29 年度から 50%→63%→64%→61%→85%→98.0%で、今年度は 84.1%で大幅に減少している。
ここ 3 年は高い数値ではあるが、エンパワメントスクールに適した学校づくりに対しての共通の認識をもつことが大切であり、そういった意見交流の場が必要である。

- 「⑩学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」については、
H29 年度から 75%→69%→72%→63%→90%→90.5%で、今年度は 85.6%と高い数値を維持している。教員間で日常的に情報共有する機会や時間がとることができたと考えられる。
- 「⑳教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」については、
H29 年度から 58%→65%→62%→50%→87%→84.1%で、今年度は 77.7%と減少した。
学校教育自己診断やアンケート、提案などを具体的な指導方針や方法として速やかに盛り込んでいったことが重要である。

<教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について>

◆いじめについて

・生徒対象

「⑭いじめについて、困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

H29 年度から 60%→66%→64%→70%→57%→78.9%で、今年度は 84.8%と大きく増加している。いじめや差別に対して教職員がアンテナを張り、丁寧に対応していることで生徒の教職員に対する信頼が少しずつ大きくなっていることの表れだと思われる。

・保護者対象

「⑫いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

H29 年度から 37%→45%→44%→47%→47%→71.9%で、今年度は 68.1%であった。ただ、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」は 24.9%と高い。生徒は 13.9%であるが保護者の認識としては、よくない数値となっている。早急の対応が必要だと考えられる。

・教職員対象

「⑬生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」については、

今年度は 98.4%（昨年度 98.4%）で高い数値を維持している。また、否定的な回答した生徒は、今年度は 13.9%（昨年度 20%）と減少しており、一定の成果があった。ただ、すべての生徒が安心した学校生活を送れるようさらに努めなければならない。

◆校則・指導について

・生徒対象

「⑯学校の校則や指導について納得できる。」については、

1 年生 62.3%、2 年生 46.7%（1 年次 51.7%）、3 年生 58.3%（2 年次 55.7%）、全体としては 56.0%（昨年度 53.3%）であった。半数程度の生徒が否定的な回答をしている。また、2 年生で数値が減少している。引き続き校則や指導の意味を丁寧に説明し、ルールや校則が自分たちのためであり、自分を守ることに繋がると思えるようなルールや指導内容を考えていくことが課題である。

・保護者対象

「⑭学校の校則や指導方針に共感できる。」については、

1 年生 66.2%、2 年生 67.2%（1 年次 64%）、3 年生 74.2%（2 年次 73%）、全体として 69.2%と一定の理解は得ているが、否定的な回答が 27.6%があり、この数値を下げていく取り組みをしていかなければならない。

◆学校へ行く楽しみについて

・生徒対象

「㉑学校へ行くのは楽しい。」については、

1年生 87.0%、2年生 85.9%（1年次 69%）、3年生 93.9%（2年次 65%）で、全体は 88.6%（昨年度 67%）と大幅に増加している。

・保護者対象

「④子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」については、

1年生 74.3%、2年生 71.4%（1年次 74%）、3年生 79.0%（2年次 64%）で、全体は 75.1%（昨年度 74%）と増加している。

コロナも収まり、学校行事も含め、いつのも学校生活が戻ってきたことが要因だと考えられる。

◆エンパワメントスクールへの満足度

・生徒対象

「㉔エンパワメントスクールに来てよかった。」については、

1年生 92.6%、2年生 88.9%（1年次 91%）、3年生 92.2%（2年次 84%）で、全体は 91.3%（昨年度 81%）と大きく増加している。特に3年生が 90%以上と高い数値が出ている。

・保護者対象

「⑩子供をエンパワメントスクールへ入学させて満足している。」については、

1年生 87.8%、2年生 85.7%（1年次 83%）、3年生 90.3%（2年次 83%）で、全体は 88.1%（昨年度 83%）と増加した。

令和5年度〈全体を通して〉

- ・コロナが収まり、学校行事も含め、通常の学校生活が送れるようになり、生徒の満足度がかなり上がった結果となった。また、中学校3年間をコロナ禍で過ごした生徒が初めて通常の学校生活を送ったことも要因であると考えられる。

全体として高い評価を得られていることは、学校側の取り組みや指導方針が、ある程度生徒や保護者に理解されてるこ考えられるが、その分、学校側に対する期待が大きいことの現れであると考えられる。この数値を3年間維持することが重要であると考えられる。そういった取り組みを学校全体で考え、実行していくことが今後の課題である。加えて、「担任やその他の先生に相談しやすい」の否定的な部分の改善も重大課題としてとらえ、早期に改善していかなければならない。そのことは、校則についての生徒の納得、保護者の理解にもつながっていくと考えられる。

- ・教育庁再編成備課の分析によると、「③長吉高校の授業はわかりやすい」「⑥自分の考えや意見を伝える力がついた」「⑩先生の指導は納得できる」「⑬学校行事に満足している」等の項目と「学校満足度」を問う項目は相関関係があるといわれて、今年度も③⑥⑩⑬のすべての項目が、高い数値となり、満足度も 81.2%→91.3%となり、初めて 90%を超える結果となった。エンパワメントスクールの達成目標である「エンパワメントスクールに来てよかった」が 90%以上となり、今後、この数字を落とすことなく、生徒・保護者の意見を聞きながら工夫した取り組みを行う必要がある。